

東大阪創生会

の必要な子どもたちの教育環境を改善すべきであり、仮称医療的ケア推進協議会

を立ち上げるべきと考えるかどうか。
学校教育部長 各学校園が保護者及び主治医等との連携のもと支援しているが、

新 社 会 党

個人質問 松平 要

鴻池新田会所の指定管理のあり方の見直しと文化財の活用へ各部の連携強化を！

水道法改正と水道行政の公責任について

水道法の改正で民営化の導入が盛り込まれたが、水道民営化は既に世界中で失敗が実証されている。事前に水道局関係者に考え方を尋ねたところ、水道事業は独立採算なので市民負担はないとの見解を示した。私が心配するのは民営化という大波に対し、市民のライフラインを守る水道局幹部がこのような認識でいることである。独立採算の事業者としてのスタンスと公的責任を担う者のスタンスでは対応に大きな開きが出てくるが、上下水道局としてこの大波に対するスタンスをどこに置くのか。
経営企画室長 市民への安定した水供給を担う公営企業としての責務を果たすためにも、今後も市民生活を第一に考えた事業運営に努

めて参りたい。
鴻池新田会所の活用とまちづくりについて

鴻池新田会所の弁天池の浚渫工事が直近の七年間に行われていなかったことが分かり、指定管理者への委託内容の一部について七年間もノーチェックだったことが明らかになった。これでは委託ではなく丸投げである。費用対効果の観点からも重大な問題と考えるが、当局の見解はどうか。
また、文化財の活用と部局間の連携について二年前に質問したが、その後どのような連携が持たれたのか。
社会教育部長 今後は指定管理者に対して部内でのチェックを厳しく行うよう指導していく。また、文化財の活用に関しては部局間の連携が出来ていない状況であり、今後部局間の連携が必要であると認識している。

草 莽 の 会

個人質問 樽本 丞史

市民に目を向けた財政運営を！

本市の財政状況について

市長は先の本会議における質問に対し、本市の財政状況は黒字というふうに答弁された。しかし、現実是一般会計における市債の残高は右肩上がりである。平成二十年度には約千五百億円で約千九十三億円の増え、

また新たに二千四百七十二万円の退職金の予算が計上される。いわば、三期で約九千万円にも上る退職金を受け取る計算になる。本市がこのような状況の中、市長が退職金を受け取ることにしているのを見解を問う。
市長 特別職の報酬また退職金をどう定めていくかということについて、報酬審議会があり、第三者の意見を聞き、その上で判断すべきものであると考えている。

充実した支援につながる手立てとして、協議会形式も含めて検討していく。
ひきこもり問題について

ひきこもりになるきっかけは、家族や友人との関係、職場でのトラブルなど多様化しており、近年は若男女問わず増えてきてい

つばさの会

個人質問 野田 彰子

ワンストップでの対応を必要とする子ども家庭センターを！

子ども家庭センターについて

議員になる前、民生主任児童委員として、虐待かもしれないと通報のあったお宅への訪問、検証をしてみた。今もなお保護司として、虐待した親の立ち直りの支援を行っている中、相談機能が充実していないため、我が子をあやめた事例なども受け持っている現状がある。子ども家庭センターは本市の永和にあるが、管轄は大阪府である。何かと不便も多く、緊急性の高い事例には、ワンストップでの対応が必要不可欠である。核家族化の中、心に寄り添う相談窓口の強化のためにも、この子ども家庭センターが東大阪独自で持たないものか見解を伺う。
子どもすこやか部長 今後

の国の動向を注視することにも、現状の課題などを精査し、検討を続けることは継続して行っている。
女性の管理職登用について
問 各方面において女性の活躍が目覚ましく、女性職員の管理職への登用については、男女共同参画社会実現のための重要課題でもある。これまで子育てや高齢者支援など女性への負担も大きく、女性がその分野での現状を知っていることは、逆に行政においても大きな力となり得る。そのような中、本市における女性の管理職登用について、増加していない現状や理由について分析できているか見解を伺う。
行政管理部長 女性職員の積極的な管理職への登用は喫緊の課題であると認識しており、女性職員の個性と能力が十分に発揮される環境整備に努めてまいります。

る。本市において、ひきこもりの総合的な部署を設置する必要があると考えるが当局の見解を問う。
社会教育部長 関係部局間

で行っている相談業務について、さらなる情報共有と連携を図りながら、総合的な窓口の設置についても検討していく。

右肩上がりの本市における市債残高の現状

